

2020年10月産地情報

【果実部】

品目	主力産地	市況予想	作況
りんご	長野 青森	→ 保合	長野産・・・秋映→シナノスイート→シナノゴールド 長野3兄弟のリレー販売。高温の影響あり、やや着色遅れ。 青森産・・・早生富士、トキ、シナノスイート主力の販売。長野産同様、高温の影響あり、着色遅れで出荷もやや遅れる予想。
栗	熊本 宮崎 鹿児島	→ 保合	熊本産は品種が利平に変わり連日販売。宮崎産は上旬迄の販売。
温州みかん	熊本 鹿児島	→ 保合	着果量は昨年並みであったが、玉肥大期に干ばつとなり、玉伸びが悪くS、2Sの小玉傾向。天候に恵まれ糖度も昨年に比べ高く酸切れも良い。
刀根早生柿	和歌山	↗ 強気配	天候不良により着色、玉伸び共に遅れ気味の傾向。中旬頃に平種なしに変わり下旬頃は新潟産も入荷。
ぶどう類	長野	→ 保合	巨峰・種なし巨峰は、月・木・土曜日の週3回の販売予定。夏場の高温等により軸枯れが心配される。
甘柿	福岡	→ 保合	上旬は西村柿、太秋柿中心の販売。小玉傾向、やや不作。中旬以降、早生富有柿が始まります。やや不作傾向、小玉予想。
メロン類	長崎 熊本	→ 保合	中旬迄は長崎産主力になるが、台風10号の影響により3割～4割減。連日販売は厳しい予想。下旬には熊本産が月・木・土の販売。
ラ・フランス	長野 山形	→ 保合	長野産中心の販売。天候にも恵まれ大玉中心。週に2回程販売予定。20日以降、山形産販売予定。
梨	熊本 佐賀 福岡	↗ 強気配	新高梨、新興梨中心の販売。開花期から作型不良で入荷減。全国的な品薄状態で相場は強い。

- 10月行事
- 1日(木) 十五夜
- 8日(木) 寒露
- 10日(土) トマトの日
- 13日(火) 豆の日
- 19日(月) 愛知のいちじくの日
- 20日(火) 土用
- 23日(金) 霜降
- 26日(月) 柿の日
- 29日(木) 十三夜
- 臨時休市
- 7日(水)
- 14日(水)
- 21日(水)
- 28日(水)

鹿児島青果株式会社

【果実部】

品目	主力産地	市況予想	作況
バナナ	フィリピン	→ 保合	高糖度バナナの入荷が激減。数量限定の販売になる。
国外 キーウイ	ニュージーランド	→ 保合	ゴールドキーウイの入船が終了。在庫販売になる。
オレンジ	オーストラリア	↗ 強気配	ネーブルからバレンシアに変わる。産地、品物が少なく単価高になる模様。
レモン	チリ	→ 保合	小玉少なく、大玉多い。品質良好。
グレープ フルーツ	メキシコ オーストラリア	↗ 強気配	オーストラリア産入荷までホワイトグレープは、入荷なしの状況。ルビーはメキシコ産が入荷中。
ハネジュウ	アメリカ メキシコ	↗ 強気配	品質が悪く入荷が不安定。中旬ぐらいからメキシコ産が始まる見込み。
パイン	フィリピン	→ 保合	9月は小玉中心の入荷になっていたが、10月からは大玉が回復してくるが、今後も小玉中心の入荷になる見込み。
アボガド	メキシコ	→ 保合	ペルー産が終わり、メキシコ産の新物も後半になって、品質が回復する見込み。

【果実部】

秋冷の候となり、果物の美味しい時期です。販売拡大をお願いします。今年、果実全般やや小玉果の傾向です。コロナに負けるな！

2020年10月産地情報

【野菜部】

品目	主力産地	市況予想	作 況
とまと	大分 熊本 宮崎	↑ 強気配	高冷地、各産地終盤にさしかかる。例年並みの出荷を見込んでいるが、中旬以降JAによっては2日に1回の出荷になる為、入荷量としてはやや少なめになる見込み。
にら	大分 宮崎	→ 保合	大分・宮崎（JA西都・JA尾鈴）産主力の販売。宮崎産は台風被害があり入荷減少。大分産は被害が少なく順調な入荷見込み。
えのき	宮崎 長崎	→ 保合	宮崎・長崎産主力の販売。フル生産に入り、入荷量は増えるが需要期でもあり保合での販売見込み。
しめじ	福岡	→ 保合	福岡（ホクト・JA大城町）産主力の販売。入荷量が増えるが引き合いも強く保合での販売見込み。
ミニトマト	熊本 大分 宮崎	↑ 強気配	高冷地物も終盤に近づいて来るので徐々に数量は減って来る見込み。早いところで下旬頃より鹿児島産の出荷が始まる模様。
とうもろこし	北海道	→ 保合	月を通じて数量は減って来る見込み。週に2、3回の入荷の模様。
冬瓜	鹿児島	→ 保合	鹿児島（喜入地区）産は徐々に減って来る見込み。鹿児島（志布志地区）産は週に1回の入荷で数量は多い模様。
茄子	熊本 鹿児島 佐賀	↓ 弱気配	9月の台風の影響で秋冬物の定植が遅れた為、中旬頃までは入荷が少ない見込み。夏秋の産地については今月である程度終了する予定。
胡瓜	宮崎 熊本	→ 保合	台風の影響で全体数量少なめ。単価高での推移となりそうである。
オクラ	鹿児島 ฟิลิปปิน	→ 保合	鹿児島産が台風で数量減の為、例年より早くフィリピン産オクラの入荷。
ピーマン	大分 熊本 鹿児島	↑ 強気配	九州高冷地産の入荷、台風10号以降各産地気温低下と共に数量減少傾向。鹿児島産新物入荷が少しずつ始まる時期です。

10月行事  
 1日（木）十五夜  
 8日（木）寒露  
 10日（土）トマトの日  
 13日（火）豆の日  
 19日（月）愛知のいちじくの日  
 20日（火）土用  
 23日（金）霜降  
 26日（月）柿の日  
 29日（木）十三夜

臨時休市  
 7日（水）  
 14日（水）  
 21日（水）  
 28日（水）

鹿児島青果株式会社

【野菜部】

品目	主力産地	市況予想	作 況
南瓜	北海道 トンガ ニューカレドニア	→ 保合	北海道産は昨年の単価安の影響もあり、後半出荷予定産地の作付が約10%減少している。又、トンガ・ニューカレドニア産は韓国の相場が高く韓国に向う数量が増加傾向です。
法蓮草	鹿児島 長崎 宮崎	→ 保合	長崎・宮崎産中心の販売。鹿児島産は、中旬以降増えて来る見込み。日々のは入荷量は増減がある見込み。
小松菜	鹿児島 福岡	→ 保合	鹿児島・福岡産中心の販売。各産地入荷の増減があるが順調な入荷が見込まれる。
水菜	鹿児島 福岡	→ 保合	鹿児島・福岡産中心の販売。朝晩の気温の低下により品質は良くなる為、順調な入荷が見込まれる。
レイシ	鹿児島 宮崎	→ 保合	露地ゴーヤの出荷が終了していき、抑制ゴーヤ主力の販売となり数量は減少していく。
かぶ	鹿児島	→ 保合	台風の影響で作付が遅れてしまい、下旬頃から鹿児島（喜入地区）産の出荷が始まる見込み。
パプリカ	韓国 ニュージーランド	→ 保合	韓国、ニュージーランド産主力の販売。7月中旬から8月中旬まで天候が悪く、洪水の影響もあった為、入荷減で単価が上昇していく見込み。
豆類	鹿児島 北海道	→ 保合	宮崎産のインゲンは上旬頃くらいまでを予定している。台風の影響もあり、少し遅れたが、上旬頃から鹿児島（垂水地区）産の出荷が始まる予定。キヌサヤは北海道産、スナップエンドウは鹿児島（指宿地区）産が早く10月末に始まる見込み。
ごぼう	青森 北海道	↑ 強気配	青森（川長）産中心の販売。一部、北海道・鹿児島産がほぼ終了予定。作柄は良好であるが、産地高で推移すると思われる。
松茸	中国 カナダ	→ 保合	中国産は第1週迄。ギフト需要があるので単価は強保合の予想。2週目以降は若干下がるものと思われる。北米カナダ産は順調な入荷予定。アメリカ産は山火事の影響で入荷が見込めない状況。

2020年10月産地情報

【野菜部】

品目	主力産地	市況予想	作況
甘藷	鹿児島	→ 保合	鹿児島産「紅さつま」主力の販売。生育時の天候不良の為、大玉が少ない。冬野菜植え付けも始まるので日々入荷量の増減がある。鹿児島（種子島地区）産「安納芋」は中旬頃からの販売予定。
里芋	鹿児島	→ 保合	鹿児島産「セレベス」中心の販売。生育時の天候不良の為、大玉少なく反収が減っている為、入荷減の予想。
アスパラガス	熊本 メキシコ	→ 保合	国内物は細物中心の入荷状況。徐々に輸入産に切り替わる時期。相場は保合で推移。
パセリ	佐賀 大分	↗ 強気配	福岡産は6、7月の長雨により壊滅的被害にあい、11月頃からの販売となりそう。佐賀産中心の販売で単価高で推移。
蓮根	佐賀 熊本	→ 保合	佐賀産中心の販売。入荷は不安定ながら順調な販売状況。相場は保合で推移。
レタス	長野 長崎	→ 保合	長野産、残量の販売。上旬頃から長崎産の入荷が始まる。
セルリー	長野	→ 保合	長野（JA諏訪）産、品質はやや安定してくると思われるが、例年より入荷減。下旬頃から長野（JA松本ハイランド）産の入荷。一部、輸入品。
白葱	北海道	↘ 弱気配	北海道産中心の販売。作況は良好となっておりAL中心で安定した入荷見込み。
青葱	福岡 佐賀	↘ 弱気配	各産地、高温生育により秀品率が悪く中旬に向け回復傾向となってくる。
キャベツ	群馬 宮崎 熊本	→ 保合	上旬～中旬にかけては群馬（JA孺恋村）産主力の販売。宮崎（えびの地区）産については、一部定植が遅れ下旬からの出荷になるが、ほとんどが10月上旬くらいから出てきそう。中旬以降は宮崎産主力の販売。

【野菜部】

品目	主力産地	市況予想	作況
生椎茸	宮崎 鹿児島	↗ 強気配	宮崎産中心の販売。数量減、単価高で推移する見込み。特品、A品中心の入荷の中での販売。
白菜	長野	→ 保合	長野産主力の販売。8月の日照不足、長雨により生育は良くないが、夕取り、又収穫がレタスから白菜へ移行する為、数量は増える見込み。
サニーレタス	福岡 長崎	↗ 強気配	長野産は終盤。福岡産は上旬より徐々に増えてくる予定。
ブロッコリー	北海道 長崎	↗ 強気配	北海道産中心の販売。残量少なく、中下旬頃までの入荷予定。早ければ下旬頃から九州産の入荷見込み。
人参	北海道	↗ 強気配	北海道産の販売。大玉少なく、小玉中心になってくる為、高値での販売となる見込み。
長芋	青森	→ 保合	青森産の販売。順調な入荷があり、安定した価格での販売となる見込み。
馬鈴薯	北海道	→ 保合	北海道産中心の販売。入荷は順調。目立った病気等もない。品種のとうやが終盤。キタアカリ、キタカムイ中心になる見込み。
大根	北海道 青森 鹿児島	→ 保合	北海道・青森産主力の販売。北海道産が20日前後、青森産が下旬頃までの販売。中旬頃より一部鹿児島産の入荷が見込まれる。
玉葱	北海道	→ 保合	早生から中生に切り替わり品質ともに安定して入荷する見込み。

10月行事  
 1日（木）十五夜  
 8日（木）寒露  
 10日（土）トマトの日  
 13日（火）豆の日  
 19日（月）愛知のいちじくの日  
 20日（火）土用  
 23日（金）霜降  
 26日（月）柿の日  
 29日（木）十三夜  
 臨時休市  
 7日（水）  
 14日（水）  
 21日（水）  
 28日（水）

【野菜部】

夏秋産地、梅雨の長雨等で減少。台風10号の影響もあり果菜類は早めに終了していくと思われる。高冷地産地から準高冷・秋冬産地へ移行していく時期になる為、品物によっては入荷の増減が見込まれる。